

スマイルタイムズ

No, 254

平成30(2018)年1月12日(金)発行
発行者 小浜市多田2-2-1 中山クリニック 院長 中山茂樹
<http://www.nakayama-clinic.jp>

「医療法人 三愛会 中山クリニック」は本年さらに先見の支度をします。

院長 中山茂樹

新年、明けましておめでとうございます。

当院が医療法人となって8ヶ月が過ぎましたが、特に変化はなく私の休養が取れない状態が続いております。睡眠不足が徐々に、体力、気力を消耗させているようで寂しいことです。医師研修の卒業は1978年で、あれから実に40年という月日が経ち、数多くのお産や産科・婦人科の手術をしてきましたが慣れるということはなく、その都度、その都度、緊張は抜けません。予測不能なことばかりの人間の体ですが、それを想定外としないように、常に考え、常に予測することが習性となっています。私は職人気質の医者だと我ながら思ってきました。40年間にはいろいろ患者さんやスタッフに迷惑をかけ、それでいて皆さんに助けられて、精神的な支柱は家族に置き、どうにかやってこられました。もう少し頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、今年1月より、安倍浩之君の「ふらむはあとリハビリネット」と合併して医療、介護、自立支援など時代のニーズに合わせて多くの分野で協力し合い、三愛会の地域医療充実を話し合っております。将来の人口減少、超高齢社会にどう戦略を練って行くか、行政ではやりにくい分野に積極的に分け入って少しでも地域の皆さんに役立つよう頑張っけてゆきたいと思っております。私は医療しか分かりませんが、若い安倍君やスタッフの方々が一生懸命張り切って将来のために動いておられます。

特にトライしていることは、門前の「ふじや」さん(元、料理旅館)をお借りして地域の高齢の方と一緒に畑を作ったり、車いすなどの旅行者を受け入れる計画です。車いすで旅行できる旅館であれば介護の必要な方、健常者を問わず、どなたでも宿泊して頂けますから。安倍君ともども一緒にいろいろな方向へチャレンジして行きたいと思っております。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に、皆様方の今年一年のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

頓首